令和8年11月24日現在

令和8年度

賃 貸 不 動 産 経 営 管 理 士 試 験

講　　評

本年度は今までと傾向が大きく変り、賃貸不動産管理士試験において画期的な年となった印象がある。例年と出題構成はほとんど変わらなかったものの、初出題の論点、テーマも多く、全体として難易度は上がった。合格点は、合格率によるが、昨年と比べると下がるのではないか。ただ、個数問題が少なく（1問）、得点しやすい組み合わせ問題（9問）も多く、過去問で問われた論点、基本事項で解ける問題も管理業法、民法、借地借家法、原状回復ガイドラン、標準契約書、維持保全で散見され、この部分で失点しなかったどうかが合否の分れ目になりそうである。見た目の難しさに惑わされず、その場でしっかり考えることができた受験生はそれなりに得点できたのではないかと思われる。

TACが予想する合格ラインは、　36点±1（11/24　発表予定）

※ 当解答速報・合格ラインはTAC独自の予想であり、解答及び合格ラインを保証するものではありません。また、情報を更新する場合もございます。

※ この解答速報の著作権はTAC㈱のものであり、無断転載・転用を禁じます。

以上